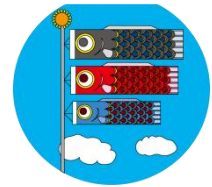




# 学校だより



<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/akuwa/>

## 5月号

学校教育目標 ①いさつから輪を広げる子 ②ふうして学び続ける子 ③たしもあなたも命を大切にす子

縦わり活動で、子どもたちを育てます。

校長 菊地 信明

風薫る5月、緑が映える季節になりました。子どもたちは、新しい学年に上がって1ヶ月が経ちました。先月20日には、今年度最初の授業参観がありました。多数の保護者様に参観していただき、子どもたちも、とても張り切って授業にのぞんでいました。この頑張る姿勢が継続できるよう、教職員一同、精一杯支援をしていきます。今月もどうぞよろしく願いいたします。

さて、今年度、阿久和小学校では、教育活動におきましていくつかの変更を行っています。その一つ目が、「日課表」です。登校時間を繰り上げ5分間をなくし、給食開始を、12時としました。それにともなって、下校時刻も、15分早くなりました。1・2時間目、3・4時間目の授業の連続性や、放課後活動の時間確保につなげています。早くなった登校時刻にも子どもたちは、慣れてきたようです。ご家庭での協力に感謝いたします。

二つ目が、「たてわり活動」です。今までは、1年生と6年生というようなペア学年での取組をしてきましたが、1年生から6年生まで一緒に活動することを中心にしています。異学年交流は、上級生が、リーダーシップを発揮し、グループを先導していく力を身に付けることが期待できます。また、他の学年の子どもたちは、集団で活動する際のルールを学んだり、コミュニケーション力を付けたりすることが期待できます。そして、各々が自己有用感を味わうことを目指しています。

そして、4月27日に行われた全校遠足で、「たてわり活動」が行われました。全校遠足自体も初めての試みでしたが、2台のバスで行くことができるのは、阿久和小学校の特色です。この日のために、事前にたてわりグループで、顔合わせ・打ち合わせをしてきたので、出発式での縦わりごとの並び方も上手に行うことができました。目的地の「はまぎん子ども宇宙科学館」でも、グループ活動がスムーズにできました。特に6年生は、他の仲間への声掛けを絶やさず、時計を見ながら行動している姿が印象的でした。2時間弱の見学・体験時間でしたが、充実した時間を過ごしていたようでした。その後の昼食やレクリエーションでも、たっぷりたてわり班で過ごし、その仲を深めることができました。



次に、この「たてわり活動」で取り組むのが、5月26日(土)に実施する『チャレンジフェスタ 2018』です。子どもたちの生き生きとかがやく姿をぜひご覧いただきたいと思います。